

銭函天狗山（５３６， ７m）

平成２７年６月６日

参加者（１３名） 渡辺良久 藤木晴夫 近藤功 永宮忠男 山岸肇 及川美子 藤木たか子
石井隆 鈴木徳子 今野勝代 太田雄子 谷郁子 森永真樹子

７；００幌別駅西集合、出発 ９；２０登山開始 ９；４０銭天山荘出発 １０；５０頂上着
１１；００昼食 １１；４０下山開始 １２；４０銭天山荘着 １３；１０駐車場出発
１４；０５入浴 １７；００幌別駅西到着、解散

７；００幌別駅前出発、銭函インターで降り登山口駐車場へ、それほど広くない駐車場はすでに満車身支度を整えゲートの手前で準備体操、
９；２０右手に砂防ダムを見ながらゆるやかに上ること１０分銭天山荘に着く。

札幌山岳会の小屋とのこと、一般開放はしていないが、個別にあるトイレは解放されていた。小休止



のあと９；４０出発、前日？の雨で道は濡れており滑り易い。所々ぬかるみがあるのは沢伝いの道のせいなのか、、、まもなく急斜面になり第一難所、また難所と進んでいく。ロープの箇所は特に滑るが、参加をしたからには登るしかない。

まもなく尾根に出ると展望が開け、眼下にゴルフ



場がみえた。さらに道の石が大きくなってくると目前に切り立った岸壁が見えてきた。ロッククラ

イマーのお楽しみ場所と聞く。生のクライミングを期待したのに今日は人影なしで残念。

岸壁を廻りこみ、１０；５０銭函天狗山頂上、大きな岩石がごろごろしている。

眺望が良く石狩湾が一望でき増毛の方面もみえている。有難い形の頂上標識を中心に記念撮影。

１１；００ちょっと早い昼食、帰りの滑る急坂を思ったら食欲なし等と言いながら美味しく完食、、、

１１；４０下山開始、上りの人との擦れ違いは、



下り優先とお願いしたい箇所が多々ありました。

１２；４０銭天山荘着、山荘のテラスで食事を楽しんでいるグループの魚を焼くいい匂い。

１３；１０現地集合組と別れ高速へ、１４；００千歳インターで降り、３分程の所にある（千歳の湯えん）でゆつたりと入浴。時間に余裕があるので、支笏湖方面の林道を走ったりしながら１７；

００幌別駅到着、解散。

楽しい山行を有難うございました。

記録 今野